

## 学校関係者評価報告書

愛媛県立伊予高等学校（その1）

学校番号 29

評価実施日		令和6年2月19日(月)	
委員	氏名	所属等	備考

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>(1) 学習指導 先生方が真剣に授業改善に取り組んでいる成果が現れてきている。</p> <p>分かる授業が実践され、学力の向上につながっていることがうかがえる。</p> <p>参観日では子ども主体の授業が展開されていた。生徒が少し大人しかったのが気になった。</p> <p>空き教室を利用した少人数学習が行われおり、効果が期待できる。</p>	<p>今年度からは習熟度別クラス編成を実施している。生徒の実態に応じた授業が実践できるよう、ICT等の活用を含めた教材開発に取り組む。</p> <p>進路希望や興味・関心に基づいた科目選択を行う。個別最適な学習を実践していくため、授業だけでなく日々の営みの中で生徒と積極的に関わっていく。</p> <p>主体的に活動する生徒は多く見受けられる。班活動やペアワークなど仲間との関りを通して、一人一人が達成感を得られるような授業の展開を工夫していく。</p> <p>総合的な探究の時間（週2時間）では、共通の目的を持った少人数による班活動や個別の活動を通して、今まで以上に課題解決能力や情報活用能力の向上を図っていききたい。</p>
<p>(2) 生活指導 これからも地域の中学生のあこがれの学校であってほしい。</p> <p>挨拶指導、身だしなみ指導がしっかりできており、社会規範が身に付いていることがうかがえる。</p> <p>積極的な生徒指導ができています。自転車の並進等ルールやマナー違反などの事例に迅速な対応ができており、予防的な指導もなされている。</p>	<p>生徒が笑顔で元気に学校生活を送るためには、挨拶の励行が欠かせない。教職員が生徒の模範となって、もっと積極的に挨拶や声掛けをしていくようにしたい。</p> <p>生徒の些細な変化や行動を見逃さず、関係教員で早期に情報共有することで、問題行動の未然防止に努めたい。</p> <p>身だしなみ等の校則を保護者やPTA、地域の方々に積極的に周知する。その中で多く意見を伺い、伊予高生の将来像を見据えて、校則見直しの参考としたい。</p> <p>交通ルールやマナーの遵守は、生徒の命を守ることに直結する。まずは、生徒や保護者に交通事故の現状をしっかりと知ってもらおう。また、小さな問題行動（ノーヘル、並進等）の積み重ねが大きな事故につながることを粘り強く訴えていきたい。</p>
<p>(3) 特別活動 学校行事では先生方が体を張って生徒と向き合っており、生徒と先生の距離の近さを感じた。また、一人一人の生徒に時間をかけてかかわっている先生の話聞き頼もしく感じている。</p> <p>学校行事が充実していると感じている生徒・保護者が多いことは素晴らしい。</p> <p>地域と連携した活動が様々な場面で、積極的かつ継続的に行われていて、地域からも好評であり、地域の中での存在感が高まってきている。</p> <p>教師の評価がやや厳しい理由を明確にして、来年度の特別活動にかかしてほしい。</p>	<p>学校行事は本校の大きな魅力の一つである。新型コロナウイルス感染対策の制限が緩和されたこともあり、生徒たちの活動の場が広がってきた。保護者や地域の方へ本校の学校行事を公開できたことも生徒たちが意欲的に活動できた原因の一つであると考えられる。さらに大きな成長の機会となるよう引き続き充実させたい。</p> <p>部活動加入率は92.5%と例年と通り高く、多くの生徒が熱心に活動できている。引き続き、限られた時間の中で指導方法の工夫・研究を行い、生徒の多様な学びの場になるようにしていきたい。</p> <p>地域との連携についても活動の機会が少しずつ広がっており、協力依頼も増えてきた。各種ボランティア活動に参加したい生徒も多く、今後必然的に増えてくると思われる。</p>

学校関係者評価報告書

愛媛県立伊予高等学校（その2）

学校番号 29

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>(4) 進路指導 意識の二極化が進んでいるように感じる。引き続き丁寧な学習相談・進路の実現を目指してほしい。</p> <p>進路情報の提供、資格取得の指導がしっかりとされていることがうかがえる。</p> <p>高等学校再編計画では伊予高校は普通科が残ることになっているので、進学を目標として進めていってほしい。</p>	<p>明確な進路目標がないまま学年が進んでいく生徒もいるため、低学年時からキャリア教育や面談などをこまめに行っている。また、生徒の多様な進路希望に対応できるよう様々な講座や補習を実施することで、各自の進路実現を目指している。</p> <p>進学に関しては、例年7割ほどの生徒が四年制大学を希望しているが、安易に受験校・学部を選ぼうとする者も多く、職業観の育成とともに、より一層個々に対応していく必要性を感じている。</p> <p>今後も生徒に早めに進路目標を持たせることができるよう情報提供を行うとともに、ホームルーム担任や学年、教科との連携を更に図り、進路希望に応じた適切な学習指導が行えるようにしていきたい。</p>
<p>(5) 人権教育 将来、しっかりとした考えを持ち、行動に移せる人を育ててほしい。</p> <p>生徒・保護者・教員みなの人権意識が高まっている。みんなで取り組むべきものであり、この調子で進めてほしい。</p> <p>人権意識を高める教育がなされていることが、アンケート結果からうかがえる。</p>	<p>ホームルーム活動のほか、人権委員会による人権デーや文化祭、全校集会での活動が、人権意識の向上につながっていると思われる。人権委員会を中心に生徒全員で考えたり、積極的に意見交換をしたりできる場面をつくってきたい。</p>
<p>(6) 読書指導 図書館の本を充実させ、言語活動や読解力につながる指導の充実を図ってほしい。</p> <p>教員の評価に対して、生徒・保護者の評価が低く、努力が必要であると感じる。</p>	<p>教科や探究活動、進路指導と連携して、生徒が自ら本を読みたいと思えるような工夫をし、良書との出会いの手助けができるような選書に努めていきたい。</p>
<p>(7) 学校経営 生徒・教職員が誇りに思う高校を引き続き展開してほしい。</p> <p>素晴らしい学校経営が行われ、生徒が生き生きと学校生活を送っていることが分かる。</p> <p>清掃が行き届いており施設の管理もきちんできており、学校がきれいである。</p> <p>先生による自己評価の結果が厳しいが、求める水準が高いからこそと思われる。</p> <p>伝統として残していくものと変えていくべきものを適切に見極めてほしい。</p> <p>社会や子どもの変化に対してどのように対応していくかが重要になる。</p> <p>学校の目的とは何か、社会に出るまでの準備をし、心身の健全な育成である。高校での3年間で夢ややりたいことがより明確になる。学校は探Qなどでの地域や企業との関わりなど学習以外の機会を増やすべきである。その中で、興味があるものが見つかり学習に結び付くだろう。学校の目的が生徒に伝わり、教員が共有し、企業が協力して、広い分野でサポートすることが必要である。</p>	<p>探Q活動を通して、外部人材との連携を120回以上実施している。今年度は、地元企業との連携を増やし、30社以上の事業所とつながりながら探究活動を実施できた。一層の交流、連携を深めることができる体制づくりを整備した。また、年度始めの会議などを中心に、教育目標とそれに基づいた探究活動の実施について共通理解を深め、生徒のよりよい成長につながるよう全校体制で取組を推進したい。</p> <p>昨年度、創立40周年という一つの節目を迎えた。これまで創ってきた伊予高校としての伝統を礎とし、地域や故郷を愛する心を育成するとともに、答えのない社会課題の解決に積極的に関わる姿勢を持つ生徒の育成を目指し今後も取り組んでいきたい。また、学校再編整備の準備をしつつ、生徒たちが安心して学ぶことのできる学校環境の整備にも取り組んでいきたい。</p> <p>学校がきれいだと評価されていることを周知し、生徒が気持ちよく清掃をしたり、当たり前前に整理整頓ができたりするような雰囲気作りや適切な指導に努める。</p>